

2020年度 上期決算説明会資料

2020年8月28日
株式会社オークネット

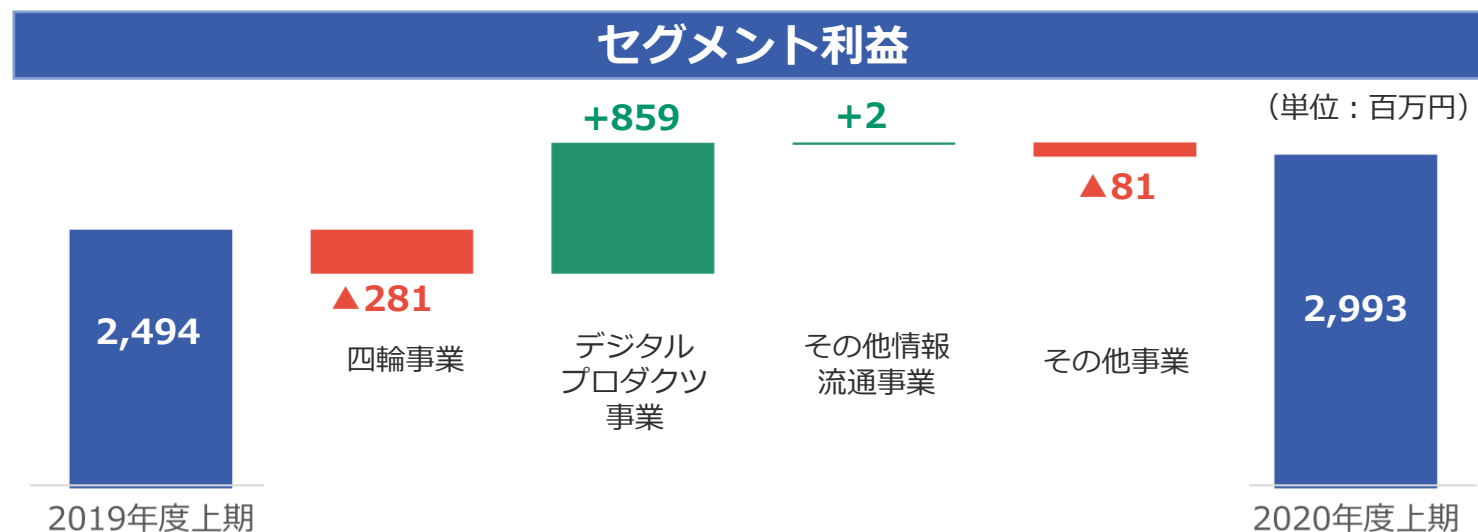
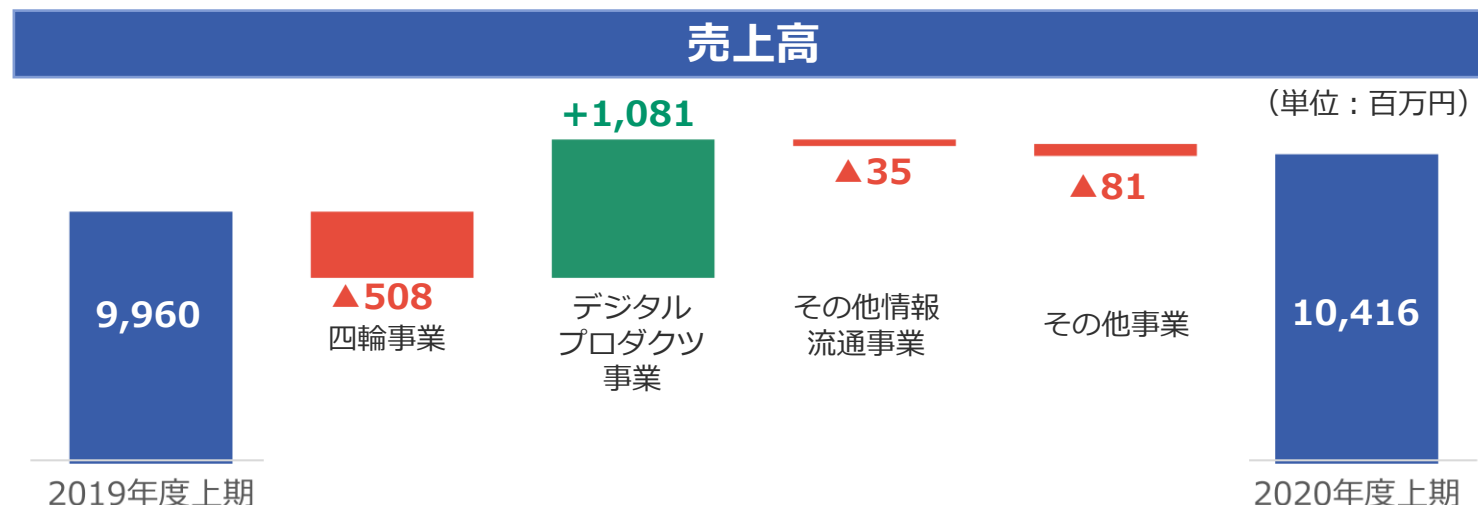
1． 2020年度上期実績	P. 2
2． 2020年度通期業績予想	P. 5
3． セグメント状況	P. 7
四輪事業	P. 8
デジタルプロダクツ事業	P. 14
その他情報流通事業	P. 20
その他事業	P. 30
4． 成長戦略	P. 32
5． 参考資料	P. 36

1. 2020年度上期実績

(単位：百万円)

	2019年度上期	2020年度上期		2019年度通期
	実績	実績	前年同期比	実績
売上高	9,960	10,416	+4.6%	19,672
営業利益	1,331	1,768	+32.9%	2,525
営業利益率	13.4%	17.0%	+3.6pt	12.8%
経常利益	1,320	1,803	+36.5%	2,630
親会社株主に帰属する 四半期純利益	659	1,059	+60.6%	1,404
1株当たり四半期純利益	23円97銭	38円33銭	+14円36銭	50円94銭
1株当たり配当金	13円00銭	10円00銭	△3円00銭	26円00銭
配当性向	54.2%	26.1%	△28.2pt	51.0%

※ 金額は、表示単位未満の端数は切捨てて表示し、比率（%）は小数点第2位を四捨五入のうえ記載しております



※ 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除く数値を記載しております

2. 2020年度通期業績予想

- 上期の業績が好調に推移した一方で、新型コロナウイルスの影響は予断を許さない状況が続いているため、2020年2月14日に公表している業績予想に変更はありません

（単位：百万円）

	2019年度	2020年度	
	実績	予想	前年同期比
売上高	19,672	20,328	+3.3%
営業利益	2,525	2,582	+2.3%
営業利益率	12.8%	12.7%	△0.1pt
経常利益	2,630	2,681	+1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,404	1,430	+1.9%
1株当たり当期純利益	50円94銭	51円77銭	+0円83銭
1株当たり配当金	26円00銭	20円00銭	△6円00銭
配当性向	51.0%	38.6%	△12.4pt

※ 金額は、表示単位未満の端数は切捨てて表示し、比率（％）は小数点第2位を四捨五入のうえ記載しております

3. セグメント状況

四輪事業

デジタルプロダクツ事業

その他情報流通事業

その他事業

3. セグメント状況

四輪事業

デジタルプロダクツ事業

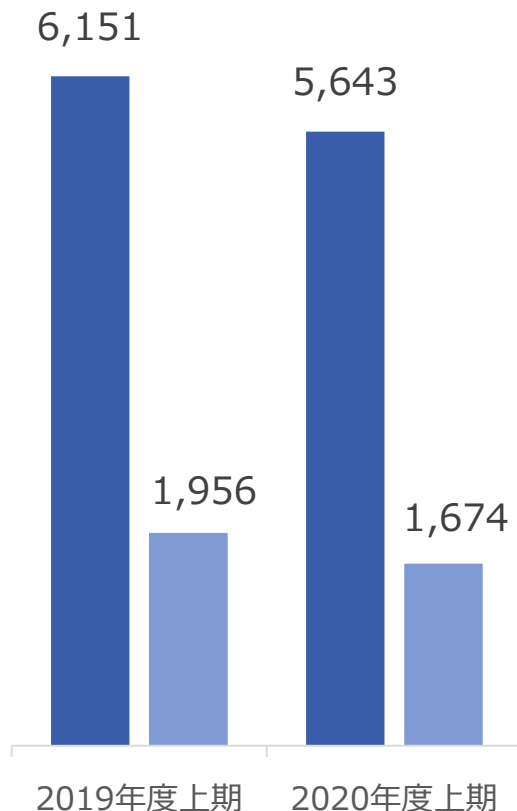
その他情報流通事業

その他事業

➤ 前年同期比、減収減益

■ 売上高（百万円）

■ セグメント利益（百万円）



中古車オークション

- 新型コロナウイルス（以下「コロナ」という）対策としてプレミアム会員の出品無料施策等を実施するも、コロナの影響による小売市場全体での販売不振の影響を受け、出品台数・成約台数が前年同期比で減少

共有在庫市場

- コロナによる市場低迷の影響に加え、輸出販売と強く結びついたロット販売不振の影響が大きく、成約台数が前年同期比で減少したが、緊急事態宣言解除後は徐々に回復傾向

ライブ中継オークション

- 3月以降、コロナ感染拡大に伴う輸出規制国への輸出の一部制限の影響を受けるも、リモートでのオークション参加ニーズの高まったほか、緊急事態宣言解除後は一部輸出の回復に加えて、中古車の小売需要を見越した買いニーズの高まりから回復傾向

落札代行サービス（アイオーク）

- コロナの影響下でもサービスの提供を継続したことにより新規会員が増加したほか、小規模店を中心としたリモートでのオークション参加ニーズと合致し、落札台数は前年同期比で増加

車両検査サービス（AIS）

- コロナによる市場の販売不振等の影響により、受託検査及び中古車情報誌の認定検査が低調となり、検査台数が前年同期比で減少

※ 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を除く数値を記載しております

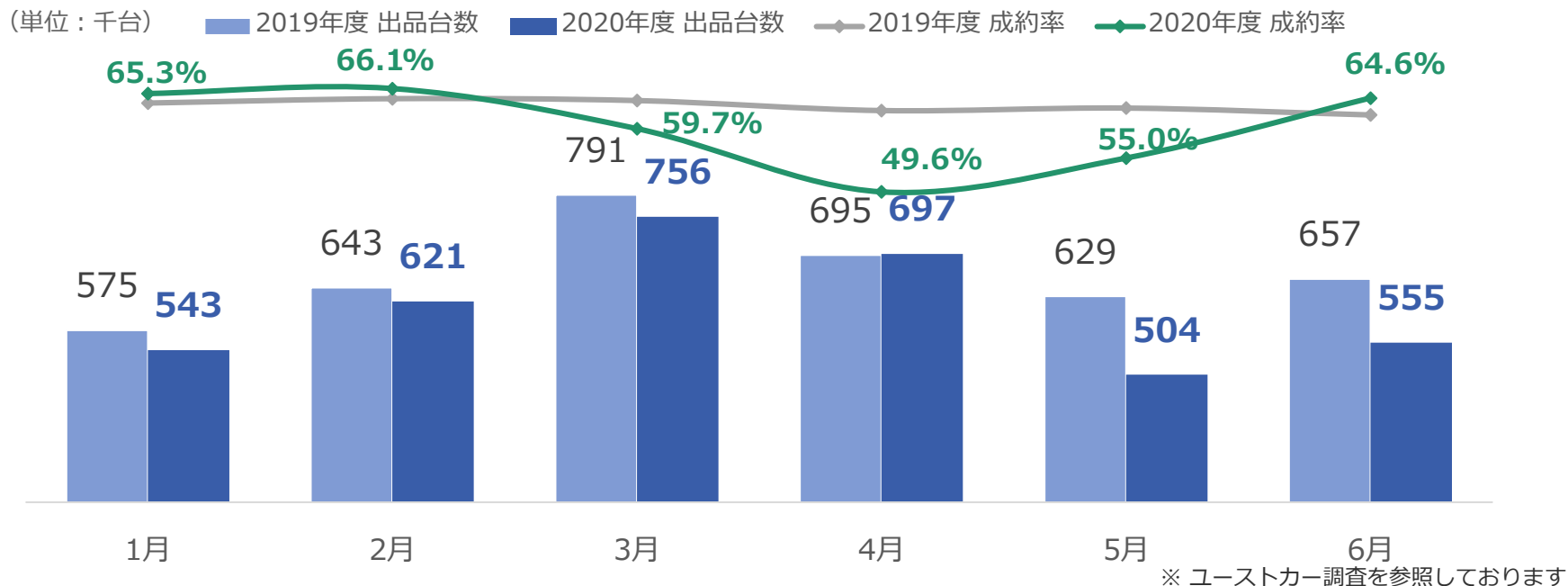
		2020年度上期	
		実績	前年同期比
四輪事業合計	総成約・落札台数	205,255台	△5.8%
	落札シェア※1	9.3%	+0.7pt
	総会員数	14,104	△0.1%
中古車オークション	総出品台数	27,760台	△13.0%
	成約台数	8,152台	△8.6%
	成約率※2	30.9%	+1.0pt
共有在庫市場	成約台数	5,754台	△18.4%
ライブ中継オークション	中継台数	2,176,739台	△4.6%
	落札台数	136,493台	△8.7%
落札代行サービス (アイオーク)	落札台数	54,856台	+4.3%
車両検査サービス (AIS)	総検査台数※3	482,333台	△3.1%

※1 当社総成約・落札台数実績合計（中古車オークション・共有在庫市場・ライブ中継オークション・落札代行サービスの成約・落札台数合計）を
全国オークション会場成約台数実績合計2,200,002台（『ユーストカー総合版+輸出相場版』より）で除して算出しております

※2 成約台数を総出品台数の中から実際にオークションに出品された純出品台数で除して算出しております

※3 中古バイク検査を含みます

国内中古車市場における出品台数と成約率の推移



- 中古車市場全体の出品台数は、昨年10月の増税及びコロナの影響による新車販売台数の低迷を受けて、前年同期比で減少した
- 他方、成約率については、3月以降コロナの影響により市場動向が見えない中、買い控えの傾向が強まって成約率の低下が顕著となるも、4月を底として回復基調で推移した

➤ 上期の中古車市場は、昨年からの増税の影響に加えコロナによる市場不振により、出品数及び成約率が減少した

四輪事業の総成約・落札台数推移

(単位：台)

217,993

205,255



2019年度上期

2020年度上期

中古車オークション・共有在庫

- 3-5月に輸出業者及び高価格帯車両を扱う販売店からの落札台数が大きく減少、リモートワーク支援施策を行うもマイナスを補いきれなかった

ライブ中継オークション

- 落札台数について、1-2月は前年同期比増で推移したほか、6月も輸出の一部回復、中古車ニーズの高まりによる買い需要から前年同期比増となり、上期全体では前年同期比で微減となった
- 複数会場で落札した車両の陸送・決済等を一括で処理できる「おまとめサービス」の利用可能会場が4会場増加

落札代行サービス

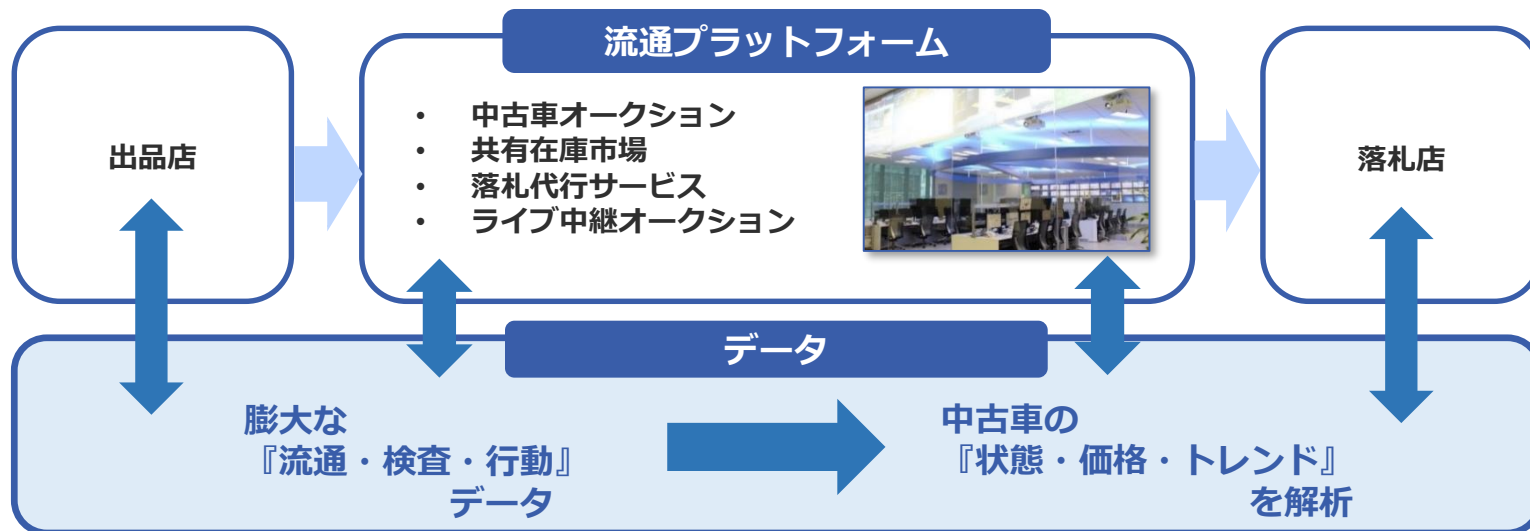
- 他企業が休業を余儀なくされる中、サービスの提供を継続したことにより新規会員が増加
- また、2019年5月に始動した新サービスの利用増、2020年1月からの一部サービスの利用料改訂の奏功により、落札台数は前年同期比で4.3%増加

車両検査サービス

- 現車会場からの受託検査が大幅に減少となったほか、これまで好調だった中古車情報誌の認定検査についてもコロナの影響により4月以降失速し、検査台数が前年同期比で減少

➤ 市場と同じくマイナス傾向にはあるものの、四輪事業の多様なサービス展開がリスク分散につながり、中古車市場停滞の影響は最小限に抑えることができた

データ流通プラットフォームの進捗



上期実績・今後の取組

- ・ 当初から予定していたインサイドセールスへの切り替えがコロナ禍でさらに加速
- ・ インサイドセールスを通じ、会員の在庫車両に応じて、市況に関するトレンド情報の提供を開始
- ・ 今後はデータの解析精度・体制をさらに拡充するほか、他企業との業務提携も視野に、データ流通プラットフォームのサービスをより強固に展開する予定

➤ 非対面での流通の重要性が高まる昨今においてこそ、データ流通プラットフォームの構築を進めデータの連動を高めることで、より利便性の高いオンライン流通を提供する

3. セグメント状況

四輪事業

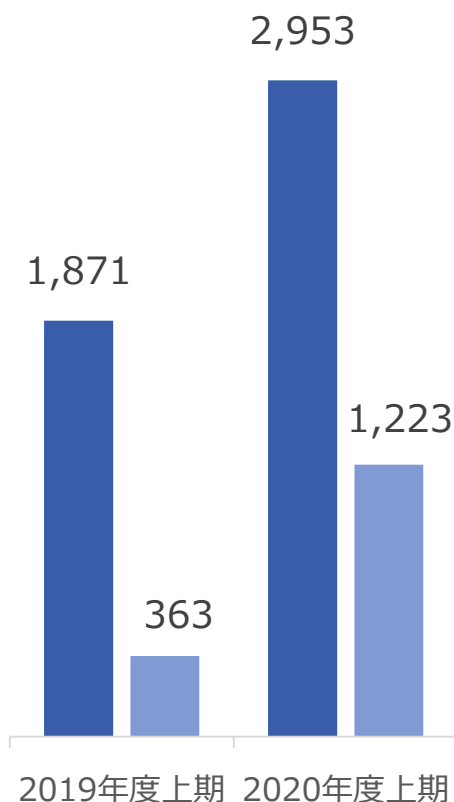
デジタルプロダクツ事業

その他情報流通事業

その他事業

▶ 前年同期比、増収増益

■ 売上高（百万円）
■ セグメント利益（百万円）



国内事業

- ・ 国内外ともに、好調な市況と新型スマートフォン販売の堅調な推移を背景に、流通台数が前年同期比で大幅に増加したほか、新型への買い替えが進んだことでより高単価な商材の割合が上昇し、取扱高が前年同期比で増加
- ・ 昨年より取り組んできた事業効率化により、原価、販売費及び一般管理費が削減
- ・ Windows 7入れ替えとリモートワーク増加により需要が高まり、中古PCの流通は好調に推移

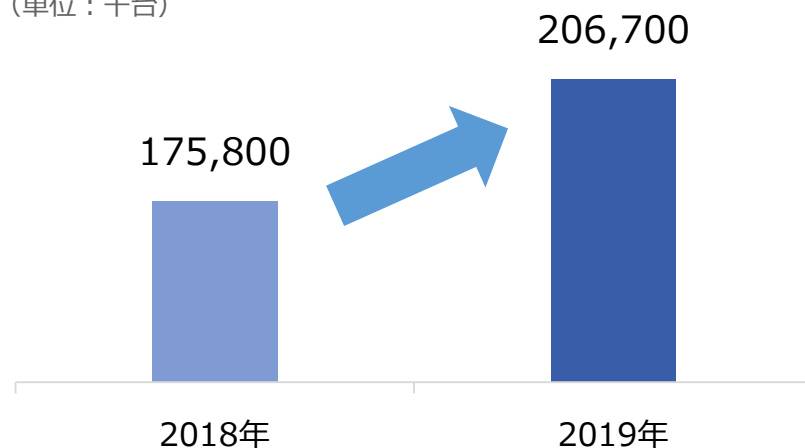
海外事業

- ・ 本格的に事業を開始した矢先に、コロナの影響が拡大したことで、全体的な商流が落ち込む等、動きが鈍い状況が続いた

		2020年度上期	
		実績	前年同期比
デジタルプロダクツ 事業全体	取扱高	17,166百万円	+51.2%
	流通台数	1,112,526台	+41.8%
	総会員数	707	+33.4%

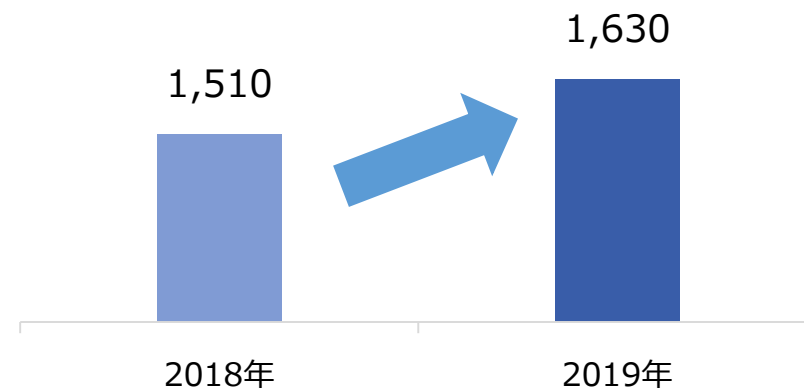
世界の中古スマートフォン販売台数推移 ※1

(単位：千台)



日本の中古スマートフォン販売台数推移 ※2

(単位：千台)



※1 米IDC調査を参照しております

※2 MM総研調査を参照しております

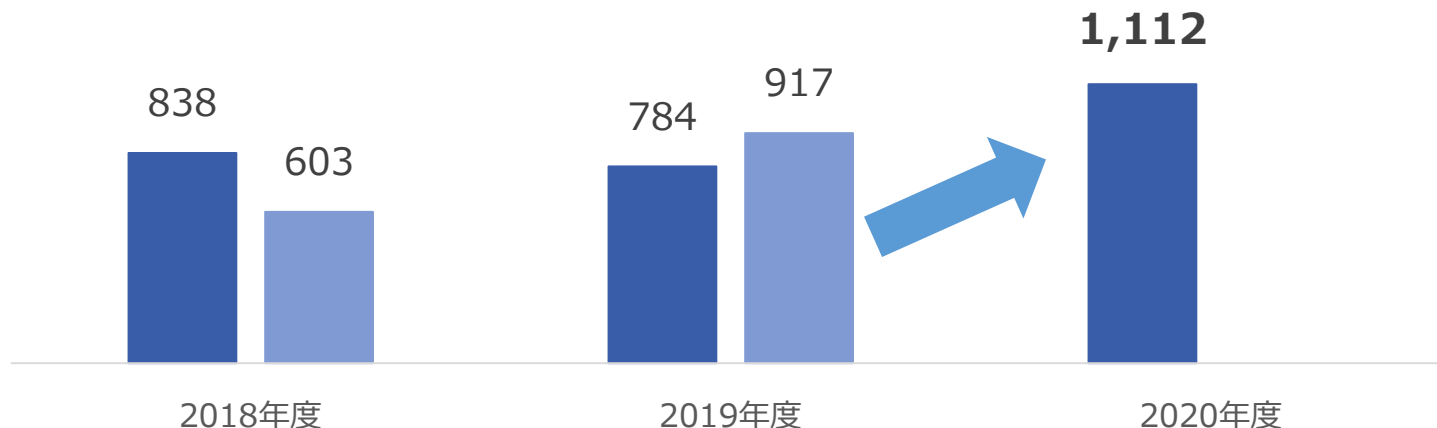
- 世界及び日本のスマートフォン市場は、新品の流通台数が横ばいで推移しているのに対し、中古の流通台数は大幅な増加傾向にある
- 新品よりも価格が安く機能も大差がない中古スマートフォンの需要が増加している他、格安SIM利用によって毎月の通信コストを削減する動きも中古需要増のひとつの要因となっている
- コロナの影響も一時的なものにとどまり、市場は好調を維持している

➤ 上昇トレンドにある国内外の中古スマートフォン市場は、コロナ禍においても堅調に推移し、デジタルプロダクツ事業の実績に好影響をもたらした

デジタルプロダクツ事業の流通台数推移

■ 上期 ■ 下期

(単位：千台)

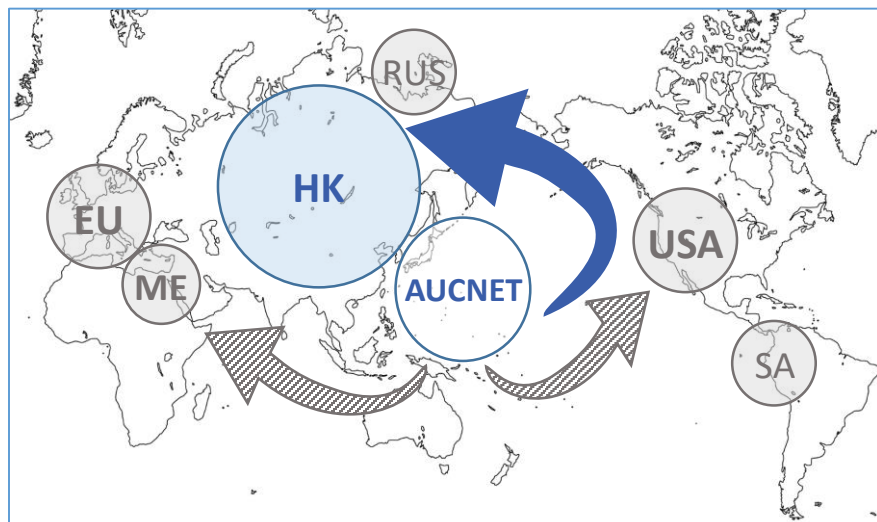


- 世界での中古スマートフォン市場の好調が、国内外のバイヤーに向けて展開しているデジタルプロダクツ事業のオークションにとって追い風となり、流通台数が予想を超えて増加
- 4月以降には、廉価モデルの新型スマートフォンが、より安価なスマートフォンを求める市場のトレンドとマッチして予想以上の売れ行きとなり、流通台数の増加につながった
- 中古PCは、昨年からのWindows 7入れ替えによる需要増に加え、コロナ禍におけるリモートワーク用PCの需要急増から新品が供給不足に陥る中、安価な中古PCの需要も高まったことで、流通台数が増加

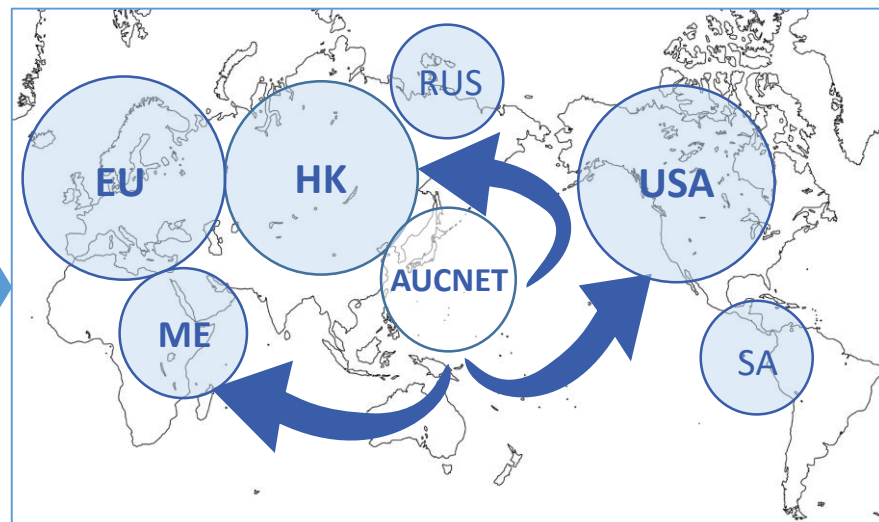
➤ 昨年より取り組んできた流通強化の取組が奏功し、好調な市場を背景としつつ、デジタルプロダクツ事業は大幅な上昇へと転換した

多様な海外バイヤー網が安定的な流通に貢献

- 4-5月、欧州・米国での都市ロックダウンが進む中、従来より多く会員を獲得していた香港エリアにより、中古スマートフォンの落札数を下支えすることができた
- 6月に入ると各地で経済再開の動きが顕在化、昨年来グローバルに100件以上の新規取引先を開拓したことも奏功し、各国からの旺盛な需要に支えられ、販売は活況を呈した
- 上期の新規海外バイヤー獲得は60件を超え、今後も一層の多様化が見込まれる



4-5月 香港からの落札が下支え



6月 欧米を中心に広い地域から落札

- 一地域に留まらない多様なグローバルネットワークは、コロナによるマイナス影響を大きく軽減したほか、相場及び流通量の安定化を実現した

米国ファシリティの稼働状況

2020年度上期

- 米国子会社ADP USAは、在宅命令等による経済活動停止の影響を受け、本格的な稼働直後に停滞を余儀なくされた
- 従来から取引交渉を重ねてきた取引先との新たなビジネス獲得の可能性がでてきている



今後の取組

- メーカー、キャリアの他、大手モバイル関連事業社、リテール事業社等との取引交渉を継続、下期には事業所として収益化の基盤を固める
- 5Gの普及により今後高い需要が見込まれるスマホ周辺商品についても取扱いを目指す

➤ 引き続き商品化業務の拡大等を推進し事業基盤を安定化させるほか、今後の需要が見込まれる商材についても取扱いを検討することで、米国での流通の本格稼働を目指す

3. セグメント状況

四輪事業

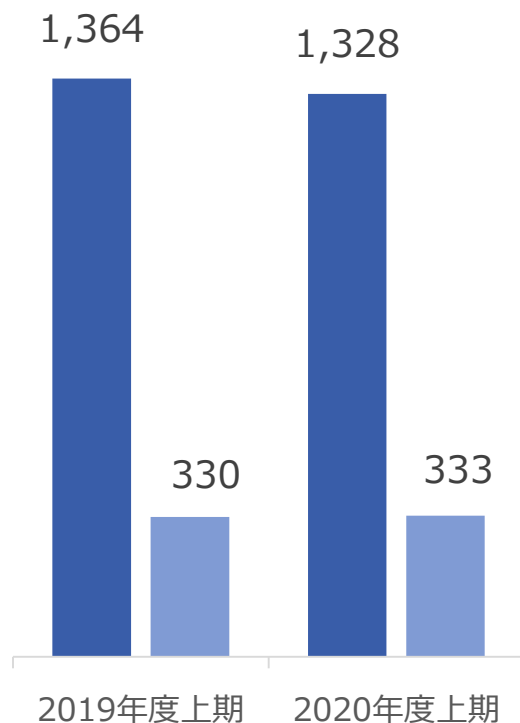
デジタルプロダクツ事業

その他情報流通事業

その他事業

➤ 前年同期比、減収増益

■ 売上高（百万円）
■ セグメント利益（百万円）



ブランド品

- 国内の現物会場が休催を余儀なくされる中、オンラインオークションの利用が活性化、取扱高は前年同期比で大きく増加
- 海外においては欧州を中心とした海外バイヤーの拡大を行ったことで、オークションへの積極的参加を促進、応札の増加につながった結果、成約数、取扱高がそれぞれ前年同期比で増加

中古バイク

- 出品減少を補うための会員獲得施策を行ったものの、3月以降のコロナの影響による落ち込みを補いきれず、出品台数は前年同期比で減少
- レンタルサービスはコロナの影響により4-5月の稼働が低調となるも、緊急事態宣言の解除後再び好調に推移し、稼働台数が前年同期比で増加

花き（切花・鉢物）

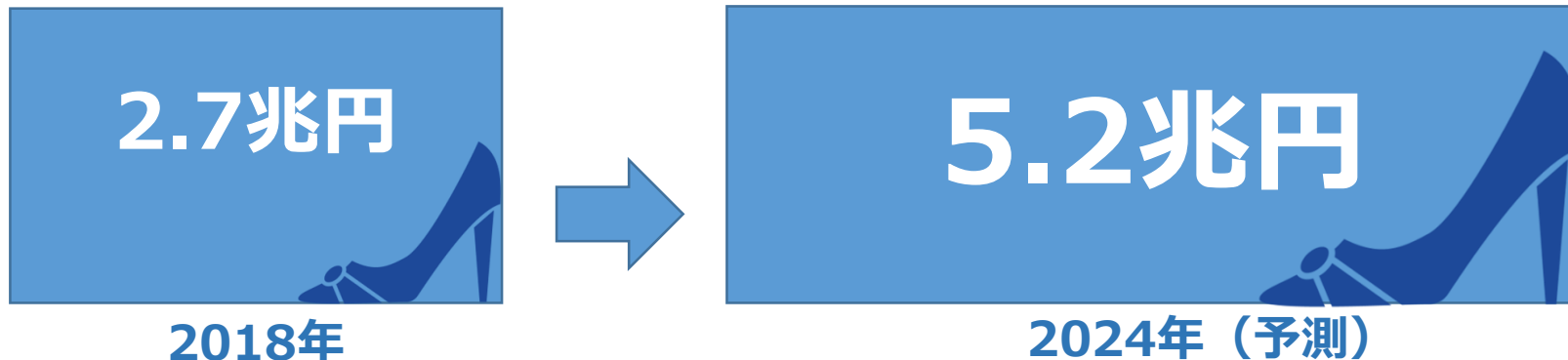
- デジタルマーケティングやネット広告の積極的な活用により、新規会員獲得を促進したが、コロナの影響により国内での冠婚葬祭等を含むイベントの花き需要の大幅低下により、取扱高は前年同期比で減少

		2020年度上期	
		実績	前年同期比
ブランド品	取扱高	6,488百万円	+21.2%
	総出品商材数	260,177点	+9.2%
	成約率	73.9%	+2.3pt
	総会員数	1,943	+12.7%
中古バイク	取扱高	3,085百万円	△9.0%
	総出品台数	24,322台	△11.9%
	成約率※	53.0%	+2.9pt
	総会員数	4,629	+2.0%
花き（切花・鉢物）	取扱高	2,488百万円	△16.3%
	総会員数（買参者）	1,091	+1.2%
	総会員数（生産者）	3,189	+3.7%

※ 成約台数を総出品台数の中から実際にオークションに出品された純出品台数で除して算出しております

世界のリユースのブランド品市場規模

- 世界のリユースのブランド品市場は、年平均で12%と大きな成長が見込まれる



※1 KD Market Insights “Pre-owned Luxury Goods Market Insights, Trends, Opportunity & Forecast”を参照しております

※2 1ドル=100円として算出しております

日本のリセールファッション市場動向

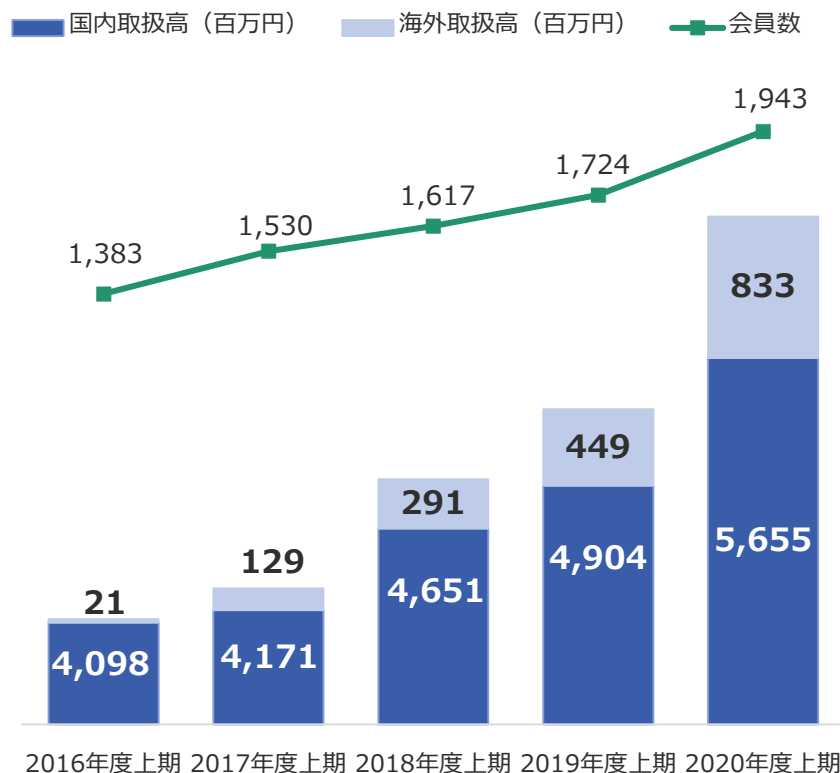
- リユースのブランド品を含む日本のリセールファッション市場は、2019年は7,200億円の市場規模であるが、C2Cサービス運営企業各社が二次流通における新たな施策を講じていくと見込まれることから、2022年は9,900億円の市場規模になると推測される

※ 矢野経済研究所調査を参照しております

- 2020年上期においては、コロナの影響により、多くのブランド品を取り扱う現物会場が休催となった

- 世界のリユースのブランド品市場規模は、世界及び日本の双方において堅調な拡大傾向にあると予測される

ブランド品の取扱高・会員数の推移



海外

- 営業開拓をしてきた欧州バイヤーの落札が増加
- 中国バイヤーの日本国内法人の落札により、海外取扱高が増加
- 米国においてはLePrixとの業務提携の影響もあり順調に落札額が増加

国内

- 日本国内の現物会場が休催する中、当社オークションの利用が活性化し、取扱高は大きく上昇
- 買取店会員様からの出品は減少したものの、業者販売店や提携会場からの出品が増加し取扱高が増加

➤ オンラインオークションとしての優位性を発揮し、ブランド品オークションはコロナ禍においても国内外共に好調に推移、業界の牽引役を担った

現物会場との連携強化

- 2019年7月から東京質屋協同組合、11月からRKグローバルオークションとオークネットのオークションシステムを利用した業務連携を開始
- 2020年上期において、多くの現物会場が休催となる中、提携会場については商材をオークネットが代わりに出品することで業界に貢献

業務連携のビジネスモデル

東京質屋協同組合



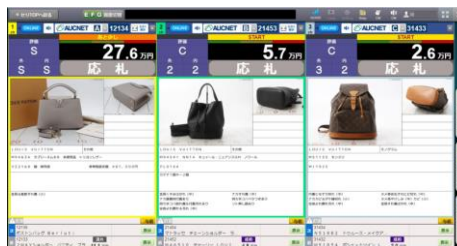
出品



月1回



流通プラットフォーム



出品



月2回

RKグローバル
オークション



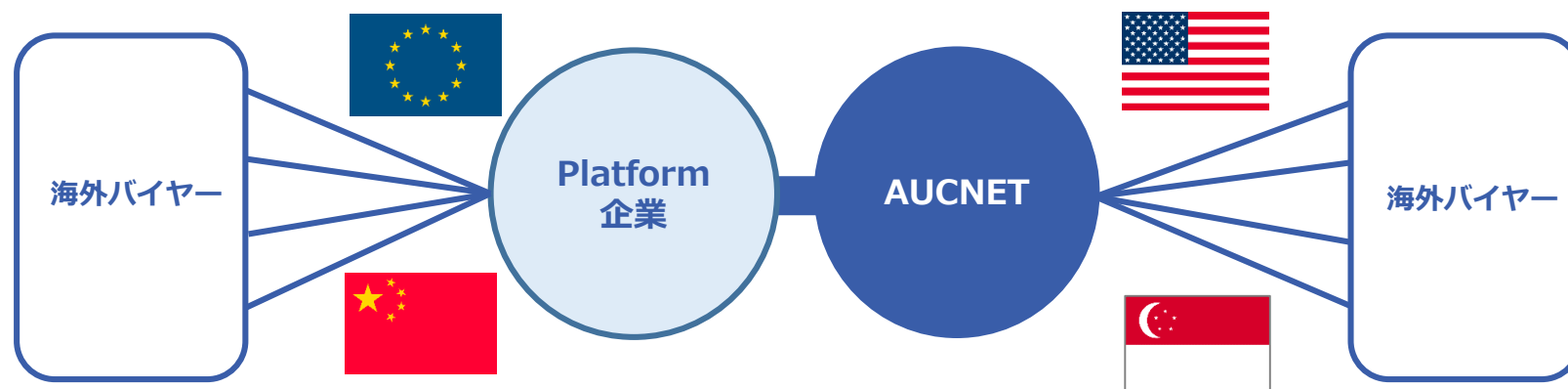
現物会場：オークネットのプラットフォームを使用してすぐに、オンラインオークションの開催可能

オークネット：取扱い商材が増加し、会員が落札したい商品をより提供可能

- ブランド品のオンラインオークションの牽引役として、今後も現物会場との連携を強化し、利便性の高いプラットフォーム提供を推進する

Global Platform Networkの構築

- 欧州や中国のPlatform企業や越境EC企業とのオークションデータ連携等を行い、その先の海外バイヤーとつながることで、グローバルネットワークを飛躍的に拡大
- 上記の業務提携を通じたバイヤーの増加に加え、30超の国々で350社以上に及ぶ独自の海外バイヤー開拓や、シンガポール合併会社によるオークション運営を行い、より多様なグローバル販売網の構築を進めている



米国事業はコロナの影響により遅滞

- 2020年1月に設立した米国子会社AUCNET CONSUMER PRODUCTS USA, LLCは、コロナの影響により事業開始が遅延
- 米国事業は、今後は感染状況を見ながら4Qに開始予定

➤ 海外バイヤー網の拡大やシンガポール合併会社、米国子会社を拠点とした海外展開を通じ、リユースのブランド品業界における世界屈指のNetwork Orchestratorとして成長を目指す

株式会社ギャラリーレアの全株式を取得し、子会社化することについて決議（2020年8月25日）



※業績への影響については、現在精査中

- 実店舗での買取や海外ECサイトの運営などC向けの事業を行っているギャラリーレアを子会社にすることで、双方にシナジー効果が生まれ、収益力や競争力を強化

共有在庫市場を通じた業務提携の拡大

- 共有在庫市場「モトバザール」は、四輪事業のサービスと同様、中古バイクの会員ネットワークを活用し、会員が所有する店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場
- グループ会員に対しては専用の共有在庫市場を開設することで、グループ間での情報の共有化を実現するほか、代金決済等の代行や、第三者機関であるAISによる車両検査の提供を通じ、グループ間での取引の活性化を実現
- 6月1日には株式会社カワサキモータースジャパンとの業務提携を開始し、共有在庫市場による一層の流通拡大支援を行う



サブスクリプション（定額制）サービスの開始

- 中古バイクのサブスクリプションサービス「ME:RIDE」（ミーライド）を開始、専用のWebサイトを5月7日にリリース
- コロナの影響により、上期においては積極的なプロモーションは実施していなかったが、今後は広告等更なる促進活動を通じ、幅広いユーザーに良質な中古バイクをリース提供する



- 業界の発展・活性化のため、各社データ連携による共有在庫市場を拡大させる一方で、ユーザー向けには、既存のレンタル事業を発展させたサブスクリプションサービスを並行して展開

東京砦花き園芸市場を子会社化

- 7月1日、株式会社東京砦花き園芸市場を子会社化
- 花きの取扱高は100億円を超え、業界屈指の市場規模へ拡大

名称	株式会社東京砦花き園芸市場
所在地	東京都世田谷区大蔵1-4-1
設立年月日	1998年7月6日
事業内容	鉢物を中心とした卸売り販売
資本金	1億円
取扱高	42.7億円（2019年）



今後の見通し

- オークネットの切花を中心とした花きWebオークション及び流通に加え、洋ラン・観葉植物・ガーデニング素材などの高品質・多品種の鉢物に強みを持つ東京砦花き園芸市場を取り込むことで、切花・鉢物の総合市場としてだけでなく、インターネットと現物の強みを活かした効率的なマーケットの創造を目指す
- 集荷便を有する東京砦花き園芸市場と、配送便を有するオークネットの強みを融合することで、将来的に農家から小売店まで一気通貫での最適配送ルートを実現とする

➤ 切花と鉢物、ネット流通と現物市場、オークネットと東京砦花き園芸市場双方の強みを組み合わせることで、次元を変えた花き事業の新たな成長・拡大を狙う

3. セグメント状況

四輪事業

デジタルプロダクツ事業

その他情報流通事業

その他事業

メネルジアの取組

- 株式会社メネルジア（2020年4月1日よりiryoo.com株式会社から商号変更）は、医療従事者向けにクローズコミュニティ内で動画を共有できるサービスを運営

医療動画視聴管理サービス「iryoo.com」



- 動画を活用した医療知識の学習や委員会運営等、医療機関での業務の利便性が向上できるサービス
- 動画内容の文字起こし、テスト、修了証の発行、視聴管理機能等を用いた情報共有が可能

学会サービス「Web TV」



- 遠方で開催される学会にオンラインで参加できるサービス
- 学会の映像をライブやオンデマンドで配信できるほか、管理者は受講管理が可能

➤ 医療分野におけるオンラインでの情報共有の需要は、コロナの影響によりさらに高まり、今後メネルジアが提供するサービスは利用者数の増加が見込まれる

4. 成長戦略

新事業分野

新規事業分野の拡充

- ・強みを活かしたビジネス展開や新サービスの開発
- ・新たな情報流通スキームの構築

**医療動画（メネルジア）/Tenant Book/
クルマ売却エージェント（カーせる）を継続**

既存事業の強化

- ・流通規模の持続的拡大
- ・会員店支援サービスの拡充
- ・BPOサービスへの展開
- ・戦略型組織へと転換

**中古車/中古スマートフォン・PC
ブランド品/中古バイク/花き/中古医療機器
を流通**



・積極的なM&A **東京砧花き子会社化/
ギャラリーレア
子会社化（9/15予定）**

国内

海外事業の拡大

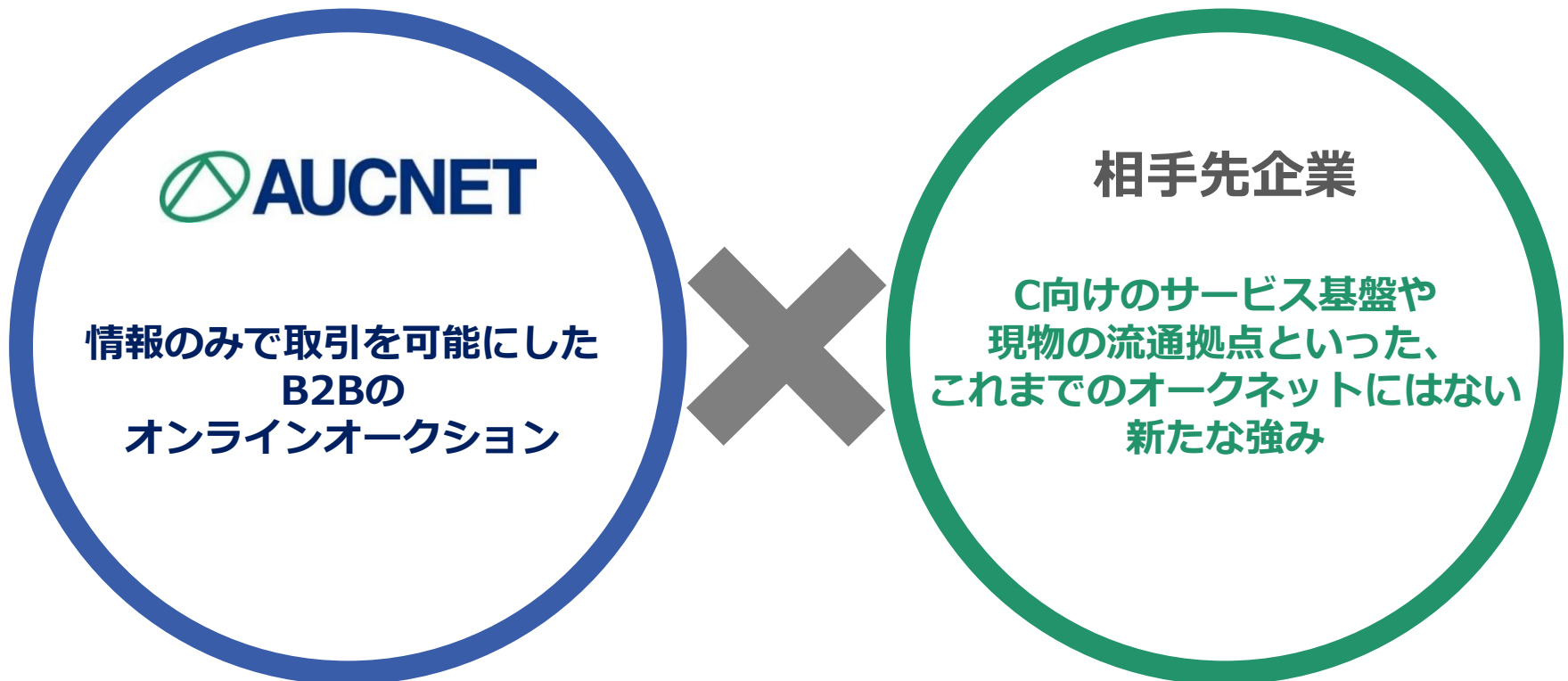
- ・既存事業の海外展開
- ・新規事業への拡大
- ・クロスボーダー取引の展開

米国拠点での中古スマートフォン流通の本格稼働に着手

**ブランド品流通において
米国子会社を設立**

海外

新型コロナウイルスの影響によりIT化が加速度的に進む中、
M&Aの推進により、オークネットの強みであるオンライン流通を他の事業と結びつけ、
相乗効果による飛躍的な事業拡大、競争力強化を目指す



あしたの流通を創造する

私たちオークネットグループは、
様々な情報に「信頼」という価値をつけて新たな流通を創造し続ける企業です。
お客様に価値あるサービス・活きた情報をお届けし、合理的な流通を促進することにより、
環境負荷が小さく、地球にやさしい情報流通社会の実現に貢献します。
私たちは、お客様が求めるサービスを常に追求し、真に信頼され、期待される企業を目指します。



5. 參考資料

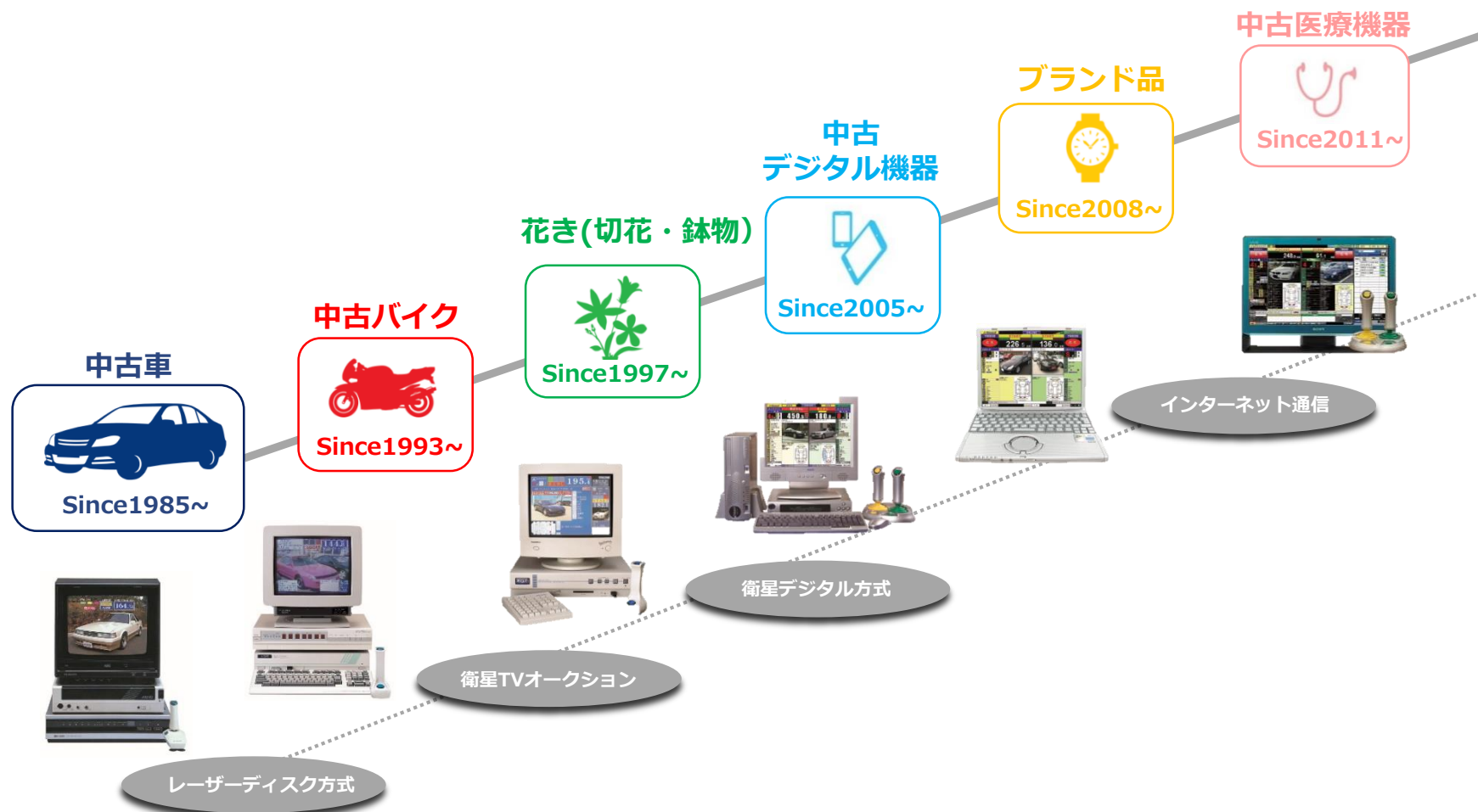
(単位：百万円)

資産	2019年 12月期末	2020年6月期末		負債・純資産	2019年 12月期末	2020年6月期末	
	金額	金額	増減		金額	金額	増減
流動資産	22,450	24,084	+1,633	流動負債	8,455	9,018	+562
現金及び預金	14,701	16,434	+1,732	オークション 借勘定	6,040	6,480	+440
オークション 貸勘定	3,589	3,518	△71	その他	2,415	2,537	+121
その他	4,159	4,132	△27	固定負債	2,535	2,654	+119
固定資産	6,873	6,624	△249	退職給付に関わる 負債	1,620	1,656	+35
有形固定資産	1,482	1,463	△18	その他	914	998	+83
無形固定資産	1,513	1,425	△88	負債合計	10,991	11,672	+681
その他	3,878	3,736	△142	純資産合計	18,333	19,036	+703
資産合計	29,324	30,709	+1,384	負債・純資産合計	29,324	30,709	+1,384

(単位：百万円)

	2019年度上期	2020年度上期	
	実績	実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	673	2,348	+1,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△ 329	+715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△370	△ 362	+7
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,894	15,444	+549

中古車オークションから事業をスタート 常に最先端のテクノロジーを活用し、オークションビジネスを展開





取扱高総額

3,575 億円



会員数

25,421 社

四輪事業

取扱高

3,091 億円



デジタルプロダクツ事業

取扱高

245 億円



その他情報流通事業

ブランド品

取扱高

105 億円



中古バイク

取扱高

69 億円



花き(切花・鉢物)

取扱高

63 億円



※ 取扱高は、各事業における当社のサービスを通じて流通した商材の成約代金です
 会員数は、同一事業内の複数サービス利用会員を除いて算出しております(2019年12月末現在)

中古車オークションを軸に、中古車流通をトータルサポート 創業以来、現車オークション会場を持たないオンライン・オークション事業を展開

中古車流通の要

車両検査サービス (AIS)

- 国内全域の出張型検査・評価サービスを約190名※の検査員で展開



※2020年6月末現在

当社主催の中古車流通

中古車オークション

- 高年式低走行車両が多数出品
- 店頭販売しながら出品可能

共有在庫市場

- 約4.5万台の店頭在庫情報※を会員間で共有し、商談取引

検索	検索	検索	検索	検索	検索
マイページ	マイページ	マイページ	マイページ	マイページ	マイページ
共有在庫 ベンツ GLCクラス GLC200 スポーツ 20年 5年4月 走行32,022 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アウディ Q3 カラーセレクション 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]	共有在庫 アウディ Q3 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]	共有在庫 アウディ Q3 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]	共有在庫 アウディ Q3 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]	共有在庫 アウディ Q3 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]	共有在庫 アウディ Q3 27年 6年4月 走行30,033 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 BMW アクティビハイブリッド Hスポートパッケージ 27年 42年4月 走行30,035 4年 BB [A] [B] [C] [D] 共有在庫 アストンマーティン カブリ DB9 ヴァランテ 20年 14年4月 5年 AA [A] [B] [C] [D] 共有在庫 ベンツ GLAクラス GLA180 20年 2年4月 走行11,112 6年 AA [A] [B] [C] [D]

※2020年6月末現在

他会場提携の中古車流通

落札代行サービス (アイオーク)

- 全国111※の現車オークション会場等と接続し、出品・落札を代行

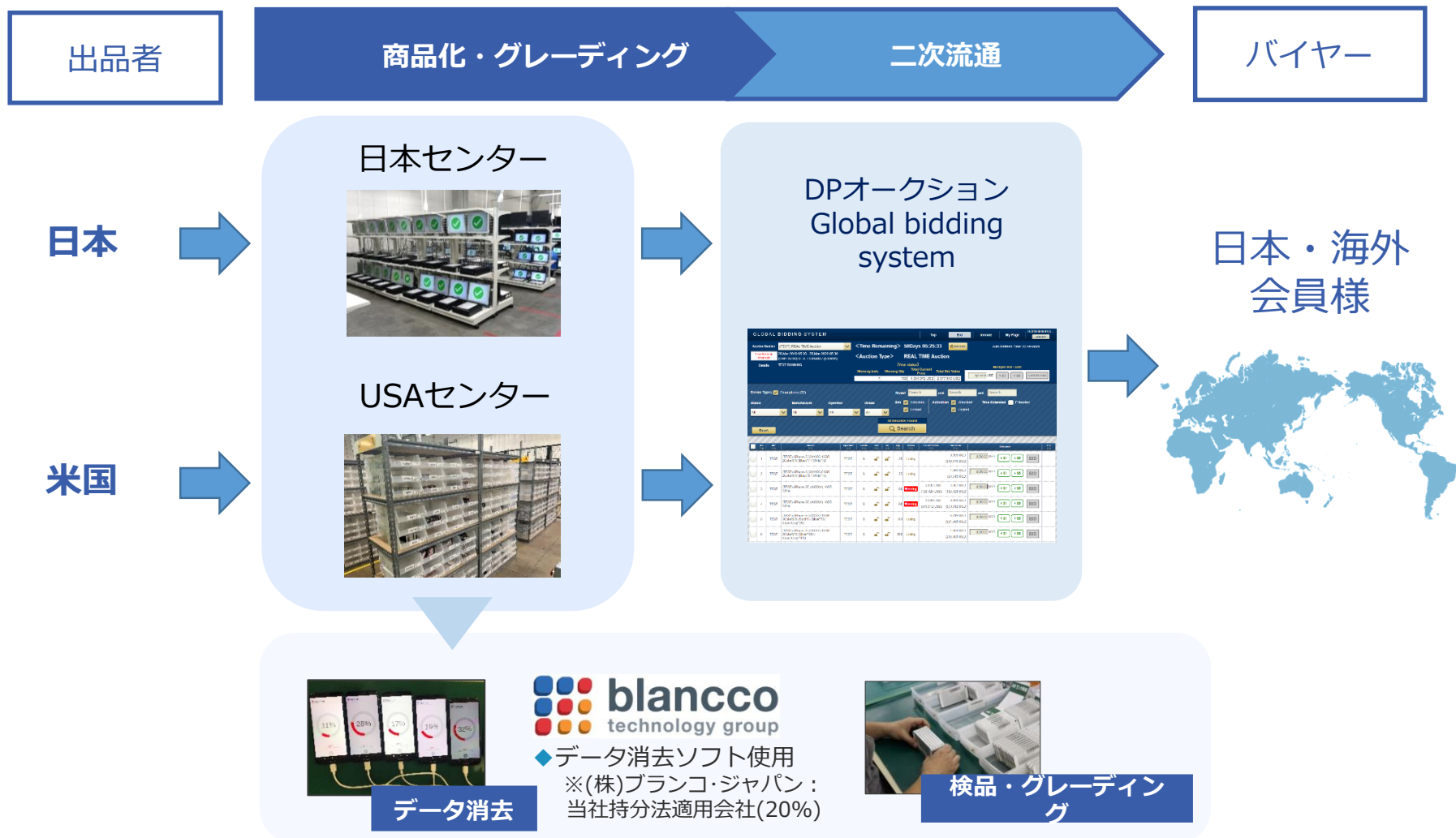
ライブ中継オークション

- 全国77※の現車オークション会場と提携し中継



※2020年6月末現在

中古スマートフォン・中古PC及びその他デジタル機器の流通サービスを提供



オンラインオークションにより、各種商材を流通 さらなる会員向けサービスの拡充を図る

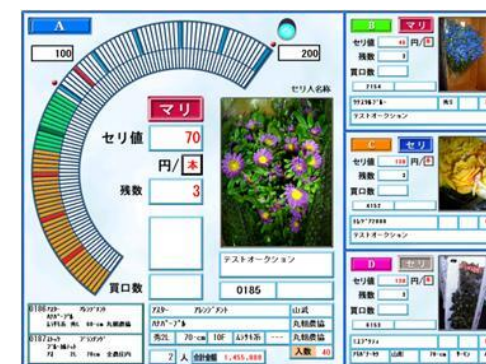
ブランド品



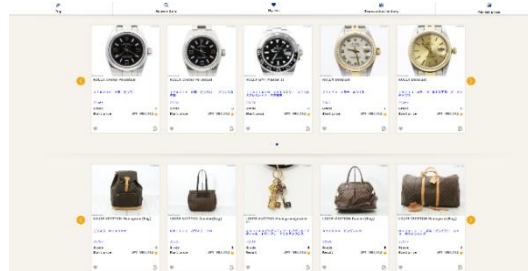
中古バイク



花き（切花・鉢物）



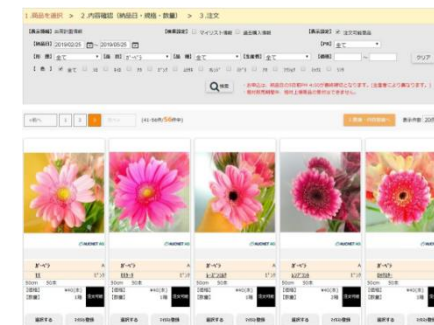
AUC Marketplace



レンタルバイク



お取寄取引



- 本資料の内容は、当社に関連する見通し、将来に関する計画等が記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいたものであり、様々な要因の変化により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。